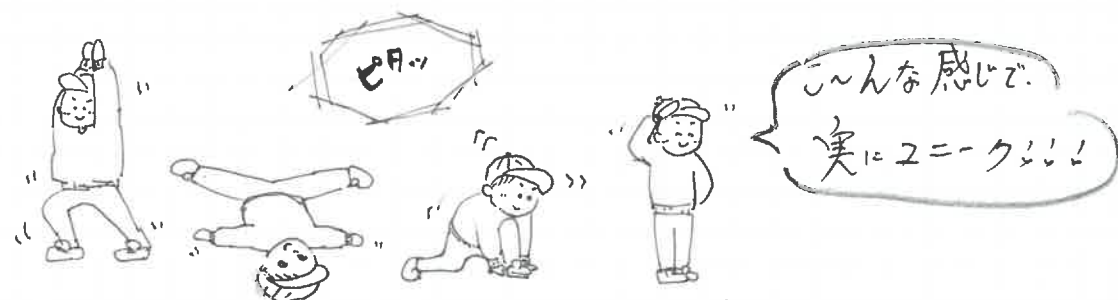


園長だより

R7.2.3 (Mon) NO.37

1月23日(木)の
インスタにも
アップさせて
頂きました。

この頃の朝の自由遊びで人気なのが「だるまさんがころんだ」です。子ども達の様子を見ていると、鬼が振り向いた時の静止ポーズが一人ひとり独特過ぎて、見ていて大爆笑してしまいます。



すでにルールというより、この時点でポーズを楽しんでいる様で、タッチされても「あ〜っ」なんて言いつつも、実はなんだか嬉しそうで、何回も何回もくり返して遊んでいます。

そこでよく見ていると、中には厳しめの鬼の子も居て、ちょっぴり動いただけですぐ名前を呼んじやう子も居れば、「だるまさんがころんだ」と振り向いてから、誰かが動くまで虎視眈々とジ〜ッと見つめている子も居たりで、そんなこんなで、鬼に名前を呼ばれても、誰も不平を口にするわけではなく、すぐに心を切り換えて楽しそうに再スタート出来ていて、子ども達の友達と全く同じポーズをしつつ

所作ひとつひとつに感心します!

その子の後ろにかくれる子も「いやいや、全然見えてますよ〜」なんですが、遊びの中でそれぞれ工夫や作戦があつて、すごいなと思います。

ふと見ると、そんな様子を近くで見ている子が……。どうして見ているだけで参加しないのか問い掛けてみると、「ん〜、どうしても動いちゃうからさ。」とひと言。なるほど〜!! なんて素敵な自己判断! 自分なりに遊びの内容を分析して考えたんですね。その子その子が「やらない権利」ってあるよな〜。そしてそれを自分で冷静に判断出来るって、素晴らしいな〜と。ここでも納得! その子も含めて、自己判断で、私も思いますが、自己責任が伴いますからいつになっても難しいですね。

本来のルールを楽しむばかりでなく、遊びを自己流に盛り上げ、楽しめる志都呂幼稚園の子達を、愛おしいな〜と改めて誇りに思いつつ嬉しく見守りました。

